

第2期松原市教育振興基本計画策定のための市民意識調査結果報告書からの抜粋版

文部科学省の中央教育審議会「令和の日本型教育」や「次期教育振興基本計画」に沿った設問や松原市教育大綱の作成に係る項目などを中心に抜粋しました。

(1) 調査の概要

①調査の目的

令和6年度から5カ年を計画期間とする「第2期松原市教育振興基本計画」の策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

②調査対象

松原市在住の18歳以上を層化無作為抽出

※層化無作為抽出：母集団を、年代（層化）ごとに分割し、各年代から標本を抽出する方法

③調査期間

令和4年10月19日から令和4年11月10日

④調査方法

郵送・web

⑤回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
1,000通	342通	34.2%

⑥調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。

(2) 調査結果の概要

①学校園教育について

本市の就学前教育、学校教育における取組みの評価としては、「学校給食は、栄養バランスがとれ、食物アレルギーに配慮した安心・安全でおいしい給食が提供されている」が最も高く、「就学前・小学校・中学校において子どもの健康管理ができています」「就学前における教育・保育の環境が充実している」が続いています。

また、市が力を入れる必要があると思う（「必要である」と「どちらかといえば必要である」の合計）教育施策や教育事業として、「子どもの学習意欲が高まる授業づくりを工夫する」「悩みがある場合、専門家に気軽に相談できる体制をつくる」「いじめや不登校等の未然防止に関する生徒指導の充実を図る」などが上位に挙げられています。

さらに、身についており、重要性も高い項目としては、「善悪を判断する力」「人間関係を築く力」「他者に対する理解と思いやりや優しさ」などが挙げられています。一方、身についていないが、重要性は高い項目として、「自ら学び、考え、主体的に行動する力」が挙げられています。

新型コロナウイルスの影響下における松原市の子どもたちの教育について不安を感じていることとしては、「子どもたちの健康状態や体力の低下」「子どもたちの学力の低下」「子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ」などが挙げられています。

松原市の教育の課題としては、「子どもたちの問題行動やいじめ・不登校」「子どもたちの学力の低下」「子どもたちの道徳心や規範意識などの低下」「子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ」などが挙げられています。

これらの点から、子どもたちが主体的に学習に取り組む態度を身につけられる教育内容・方法の充実、児童生徒等の安心・安全を確保するための取組みの充実、いじめの未然防止と早期発見の取組みの徹底等が求められていると考えられます。

②家庭での教育について

家庭の教育力（家庭で、親が子に対して行う教育）に対する評価としては、機能している（「機能している」と「ある程度は機能している」の合計）を回答した人が、機能していない（「あまり機能していない」と「機能していない」の合計）を回答した人を上回っています。

このような家庭の教育力を更に高めるために必要な取組みとして、「保護者がしつけや教育について相談できる場所をつくる」や「子どもが保護者と一緒に、様々な体験ができる機会を増やす」「保護者が子どもに対する教育の方法や心がまえを学ぶ」「子どもが保護者以外の大人（祖父母、近所の人）とふれあう機会を増やす」などが上位に挙げられています。

これらの点から、親の教育力を高めるための学びの場の確保や相談体制の充実、親と子のふれあいと交流の場づくりが求められていると考えられます。

③地域での教育について

地域の教育力（地域社会の中で子どもたちが大人や異なる年齢の友人たちとの交流を通じた様々な体験などができる教育機能のこと）に対する評価としては、機能している（「機能している」と「ある程度は機能している」の合計）を回答した人は、機能していない（「あまり機能していない」と「機能していない」の合計）を回答した人を大きく下回っています。本市において、地域の教育力の向上が喫緊の課題であることがうかがえます。

このような地域の教育力を高めるために必要な取組みとして、「子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツをしたりできる機会をつくる」や「治安を良くし、子どもが自由に遊べるようにする」「地域の大人が、地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したりする」などが上位に挙げられています。

地域の学校に対して協力してみたいと思うこととして、「通学路における登下校時の見守り活動」「自分が持つ知識・技能を教える」などが挙げられています。一方、「協力したいことはない」と回答した人が最も高くなっています。

これらの点から、異なる年齢の子どもや異なる世代の地域の人々とのかかわりの中で、様々な体験・経験の機会を提供するとともに、子どもの安全を確保しつつ、地域の大人などの力を集結して子どもを育てる環境を整備することが求められていると考えられます。

④生涯学習・文化などの活動について

生涯学習・文化などの活動に対する今後の活動意向で最も高いものは「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、陶芸など）」となっており、「パソコン・インターネットに関すること」「職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）」がつづいています。また、この1年間の生涯学習・文化などの活動で最も参加割合が高かった活動についても、「職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）」が最も多くなっていますが、今後の活動意向に比べて低い状況です。このことから、本市において、生涯学習・文化などの活動についてのニーズはあるものの、実際の活動につながっていない実態があります。

一方、本市の生涯学習・文化などの活動における取組みの評価としては、「図書館のサービスが充実している」が最も多く、「健康づくりを楽しむ機会が充実している」、「公民館活動が充実している」がつづいています。

リカレント教育や社会人の学び直しについては、「環境が整備されれば学習してみたい」と回答した人が最も高くなっています。

また、本市の生涯学習・文化などの活動をより充実させていくために必要な取組みとして、「コンサートや演劇などの機会の充実」が最も多く、「文化・芸術を気軽に学べる教室の開催」「文化・芸術施設や設備の充実」がつづいています。

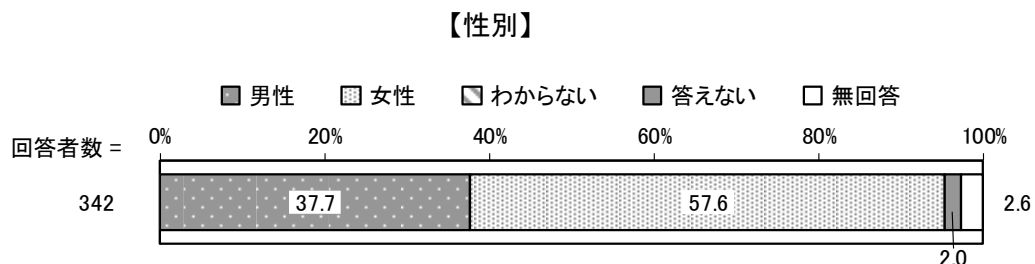
これらの点から、参加への意欲を実際の活動につなげていくためのきっかけづくりや、気軽に参加できる機会づくりや施設等の環境整備が求められていると考えられます。

(3) 回答者属性

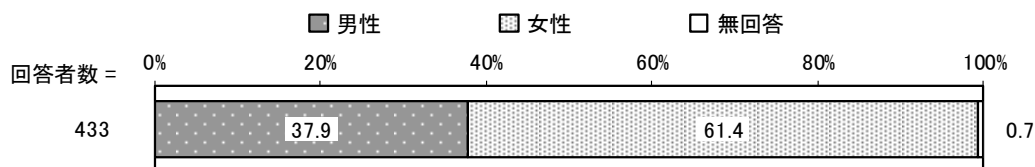
①性別

問1 性別 あなたの性別について、当てはまる番号1つに○印をつけてください。

「女性」(57.6%)、「男性」(37.7%) となっています。



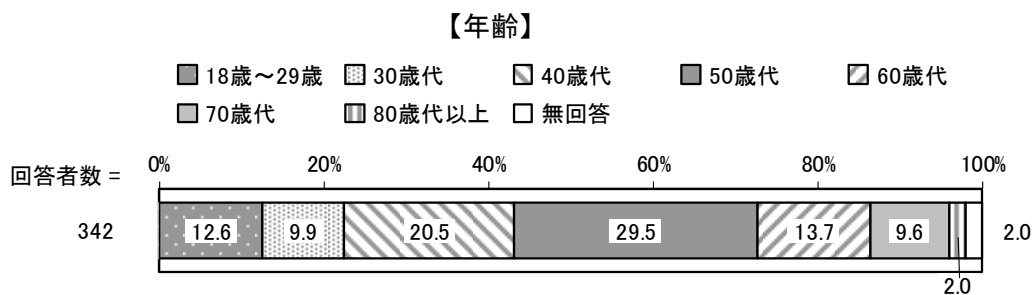
【平成30年度調査】(参考掲載)



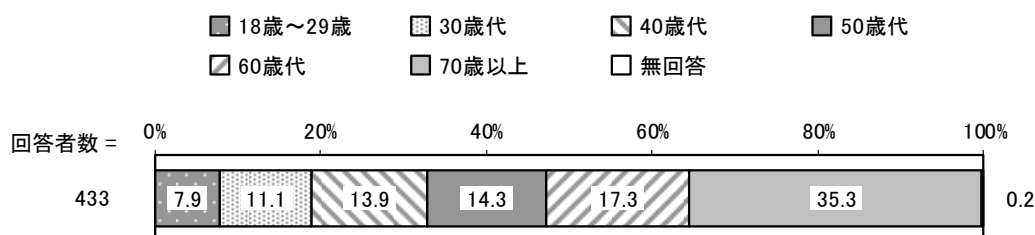
②年齢

問2 年齢 あなたの年齢について、当てはまる番号1つに○印をつけてください。

「50歳代」(29.5%)が最も高く、「40歳代」(20.5%)、「60歳代」(13.7%) となっています。



【平成30年度調査】(参考掲載)



(4) 学校園・家庭・地域の連携

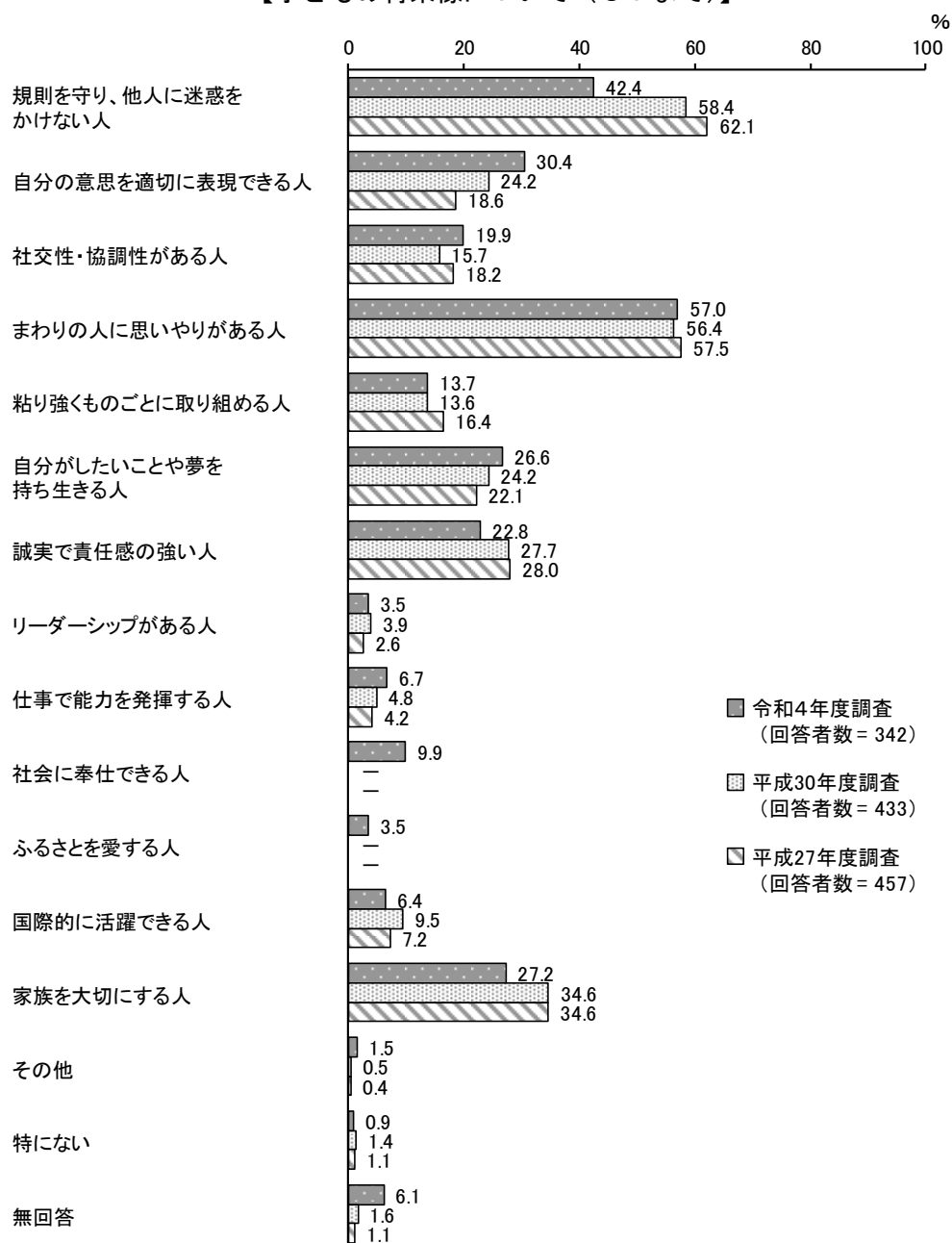
①子どもの将来像

問7 子どもたちの将来像 あなたは、松原市の子どもたちに、将来どのような人になってもらいたいと思いますか。当てはまる番号に○印をつけてください。
(主なもの3つまで○印)

子どもの将来像(どのような人になってもらいたい)についての回答では、「まわりの人に思いやりがある人」(57.0%)が最も多く、「規則を守り、他人に迷惑をかけない人」(42.4%)、「自分の意思を適切に表現できる人」(30.4%)がつづいています。

前回調査(H30)と今回調査(R4)を比較して、最も割合が増加した項目は、「自分の意思を適切に表現できる人」であり、前回より6.2ポイント増加しています。

【子どもの将来像について(3つまで)】



②学校教育で身につけるべき能力や態度の現在の状況と重要性について

問8 学校教育で身につけるべき能力や態度 松原市の学校教育の中で、次の(1)～(23)のような能力や態度について、現在の状況はどのように感じていますか。また、身につけることがどれくらい重要だと思いますか。各項目について、『現在の状況』と『重要性』それぞれについて、当てはまる番号1つに○印をつけてください。

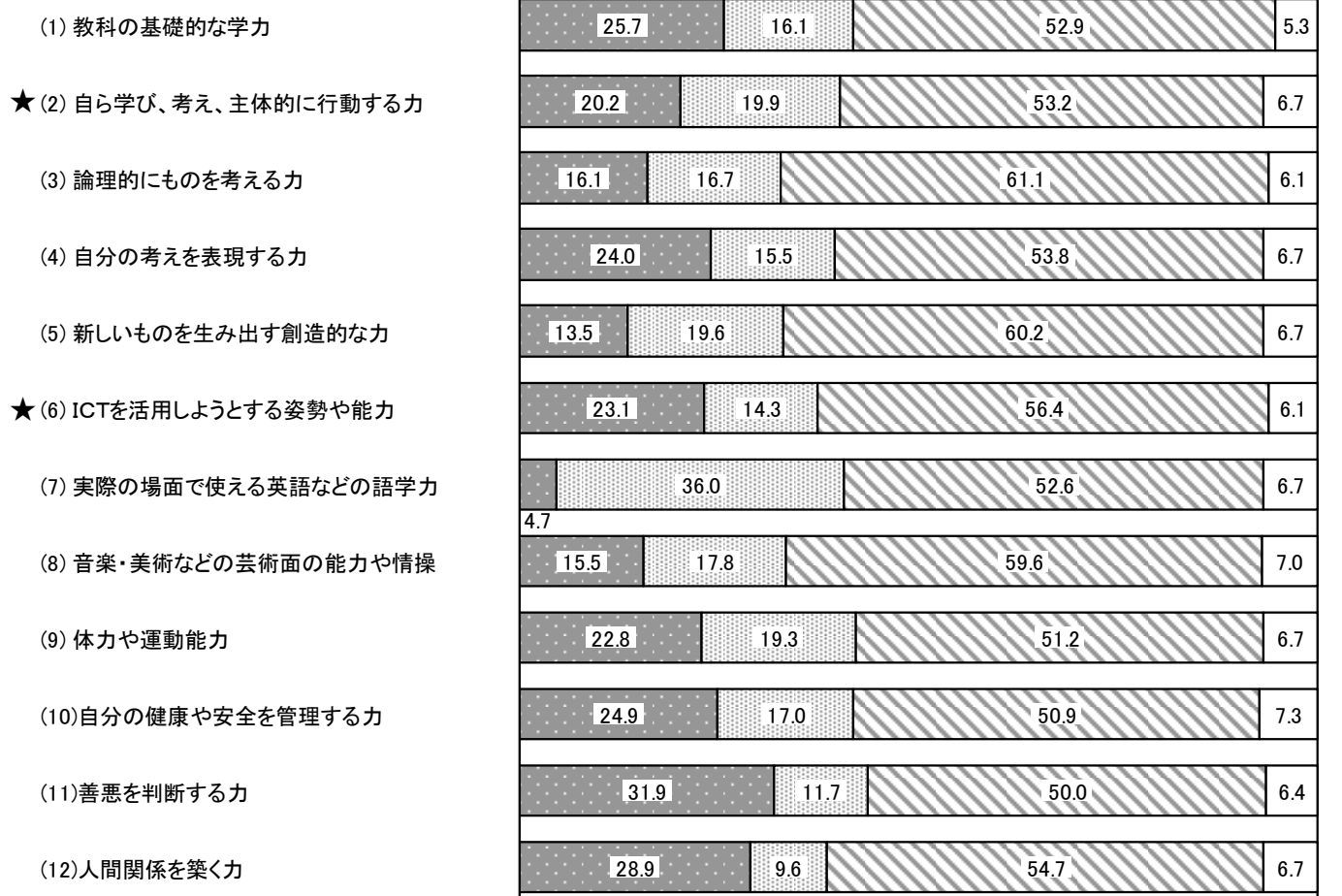
◆現在の状況

現在の状況で「身につけている」の割合が高いのは、「善悪を判断する力」(31.9%)、「他者に対する理解と思いやりや優しさ」(29.8%)、「基本的な生活習慣」(29.2%)、「人間関係を築く力」(28.9%)となっています。

【学校教育で身につけるべき能力や態度の現在の状況について】

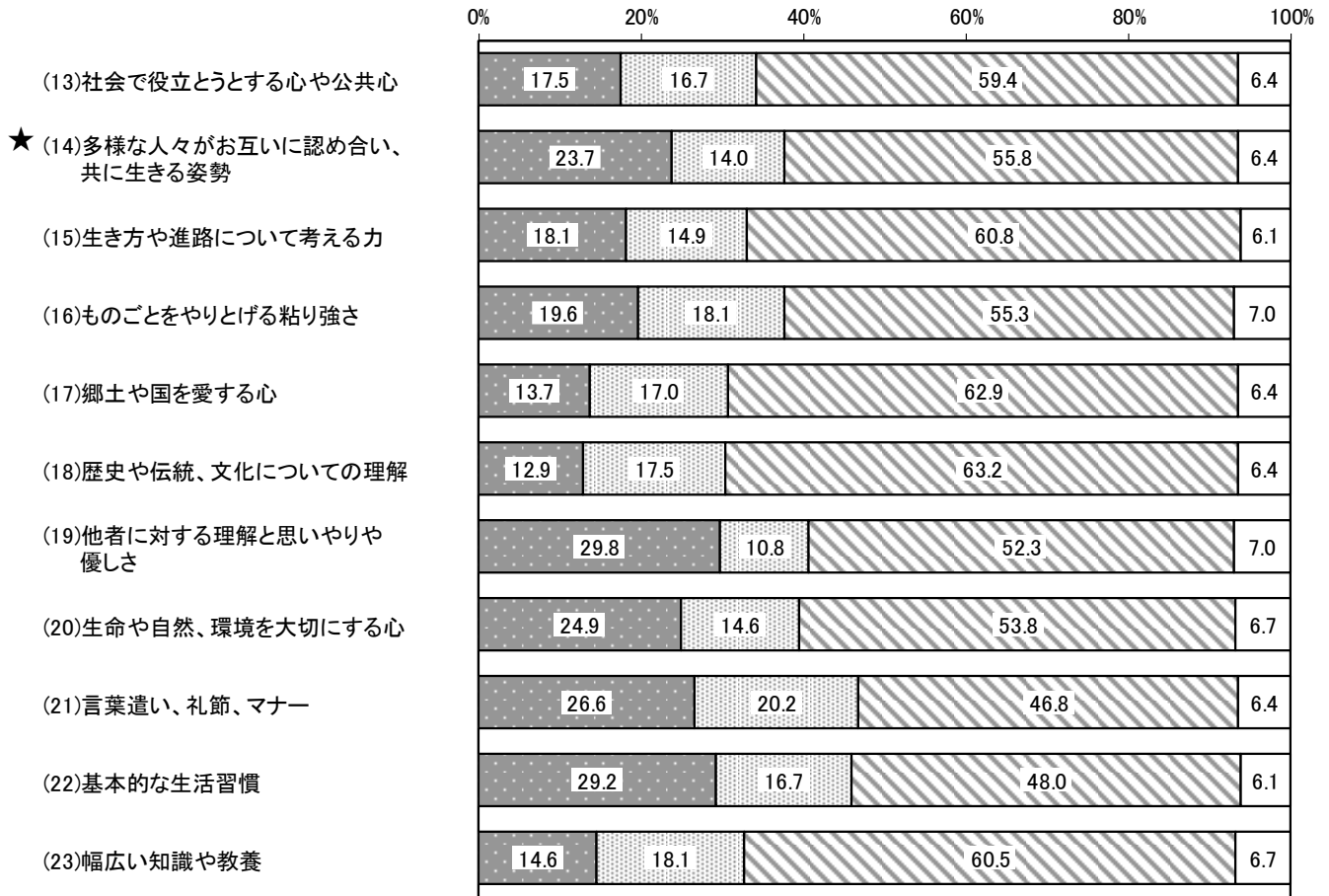
■身につけている □身につけていない ▨わからない □無回答

回答者数 = 342



★印は追加設問

■ 身についている □ 身についていない ▨ わからない □ 無回答



★印は追加設問

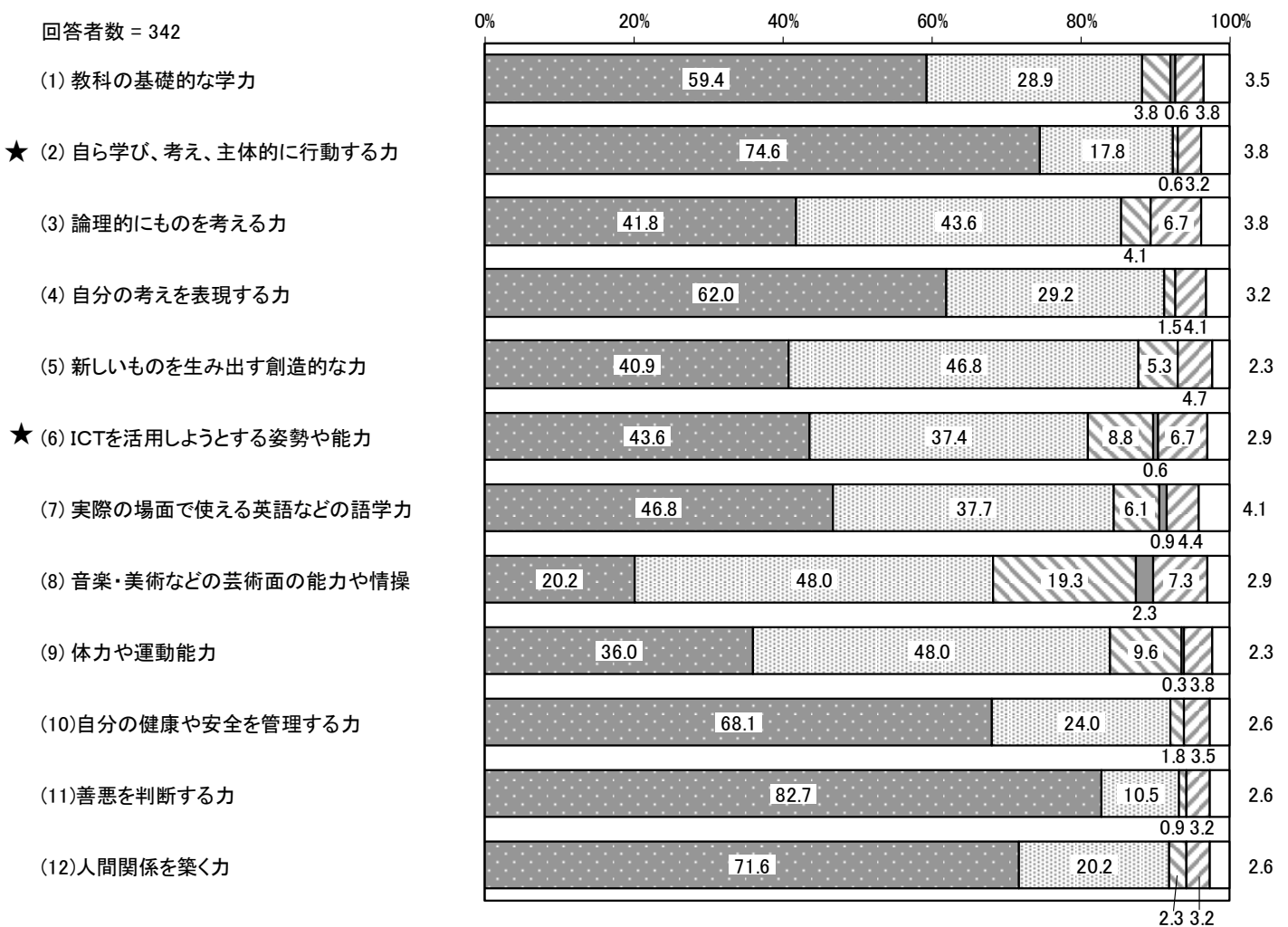
◆重要性 ★

重要性について“重要”（「とても重要」＋「やや重要」の合計）の割合が高いのは、「善悪を判断する力」（93.2%）、「他者に対する理解と思いやりや優しさ」（93.2%）、「自ら学び、考え、主体的に行動する力」（92.4%）、「生命や自然、環境を大切にする心」（92.4%）となっています。

【学校教育で身につけるべき能力や態度の重要性について】

■ とても重要 ▨ やや重要 ▩ あまり重要でない ■ 重要でない
 ▨ わからない □ 無回答

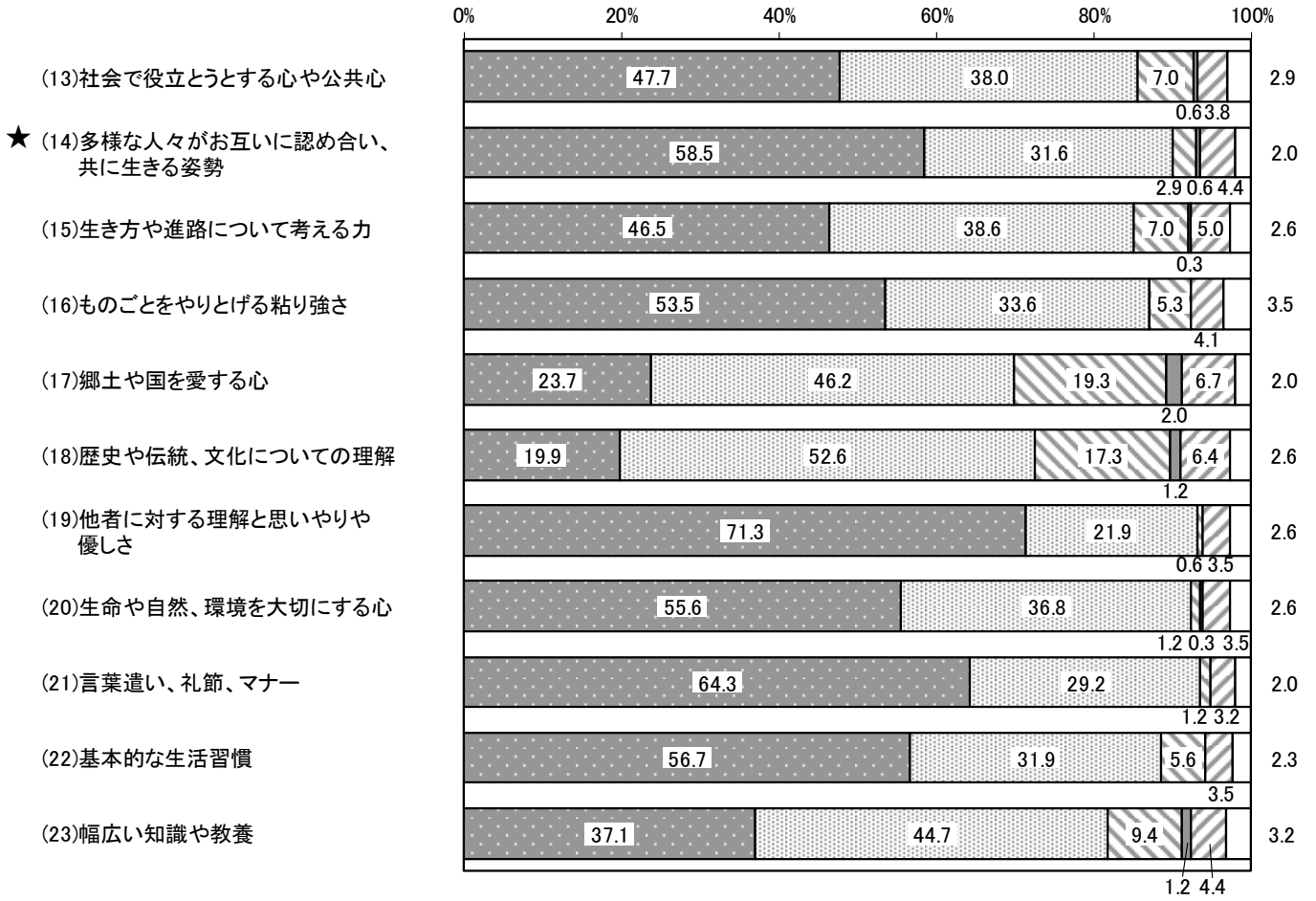
回答者数 = 342



★印は追加設問

とても重要
 やや重要
 あまり重要でない
 重要でない

わからない
 無回答



★印は追加設問

【ポートフォリオによる分析】

(1) 現在の状況・重要性の得点化

23 項目の質問項目について、「現在の状況」と「重要性」を3つと5つの選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

■現在の状況・重要性の得点化の手順■

満足度		得点		重要性		得点
身についていない	→	-2 点		重要でない	→	-2 点
わからない	→	0 点		あまり重要でない	→	-1 点
身についている	→	2 点		わからない	→	0 点
無回答	→	計算対象外		やや重要	→	1 点
				とても重要	→	2 点
				無回答	→	計算対象外

■得点の算出式■

2点×「身についている(とても重要)」の回答数
+1点×「やや重要」の回答数
+0点×「わからない」の回答数
-1点×「あまり重要でない」の回答数
-2点×「身についていない(重要でない)」の回答数／無回答を除く回答数

算出された現在の状況・重要性の得点をもとに、各施策の現在の状況・重要性に順位付けを行いました。

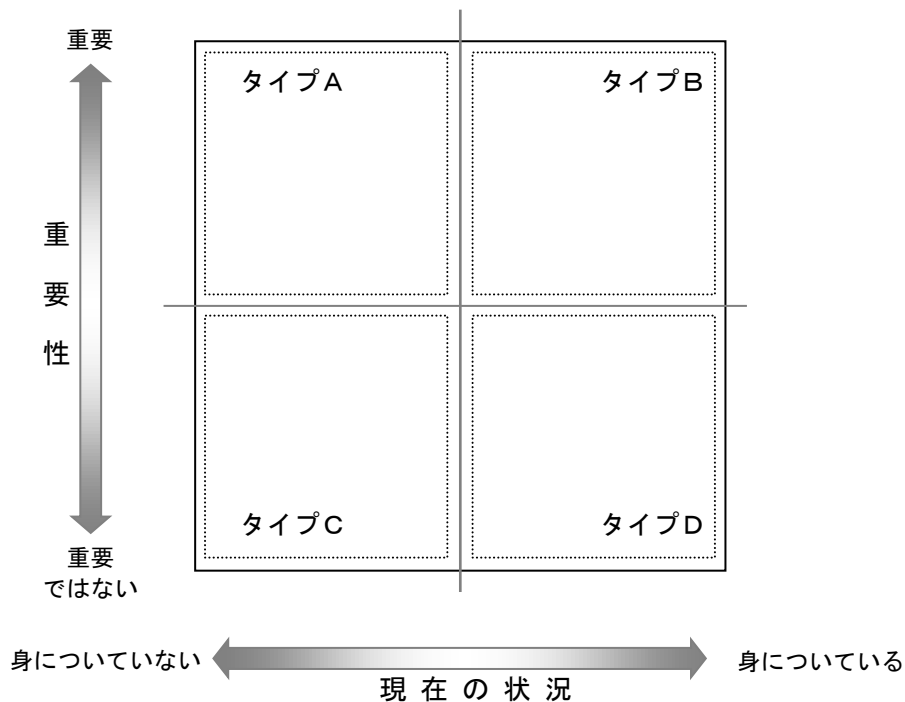
■現在の状況・重要性■

現在の状況	得点	順位	得点	重 要 性
施策名				施策名
(11) 善悪を判断する力	0.43	第1位	1.80	(11) 善悪を判断する力
(12) 人間関係を築く力	0.41	第2位	1.73	(2) 自ら学び、考え、主体的に行動する力
(19) 他者に対する理解と 思いやりや優しさ	0.41	第3位	1.68	(19) 他者に対する理解と 思いやりや優しさ
(22) 基本的な生活習慣	0.27	第4位	1.65	(12) 人間関係を築く力
(20) 生命や自然、環境を大 切にする心	0.22	第5位	1.63	(10) 自分の健康や安全を 管理する力
(14) 多様な人々がお互い に認め合い、共に生き る姿勢	0.21	第6位	1.60	(21) 言葉遣い、礼節、 マナー
(1) 教科の基礎的な学力	0.20	第7位	1.57	(4) 自分の考えを表現す る力
(6) I C Tを活用しよう とする姿勢や能力	0.19	第8位	1.50	(20) 生命や自然、環境を大 切にする心
(4) 自分の考えを表現す る力	0.18	第9位	1.48	(1) 教科の基礎的な学力
(10) 自分の健康や安全を 管理する力	0.17	第10位	1.47	(14) 多様な人々がお互い に認め合い、共に生き る姿勢
(21) 言葉遣い、礼節、 マナー	0.14	第11位	1.43	(22) 基本的な生活習慣
(9) 体力や運動能力	0.08	第12位	1.40	(16) ものごとをやりとげ る粘り強さ
(15) 生き方や進路につい て考える力	0.07	第13位	1.29	(7) 実際の場面で使える 英語などの語学力
(16) ものごとをやりとげ る粘り強さ	0.03	第14位	1.29	(13) 社会で役立つとす る心や公共心
(13) 社会で役立つとす る心や公共心	0.02	第15位	1.28	(3) 論理的にものを考 える力
(2) 自ら学び、考え、主 体的に行動する力	0.01	第16位	1.27	(15) 生き方や進路につ いて考える力
(3) 論理的にものを考 える力	-0.01	第17位	1.26	(5) 新しいものを生み出 す創造的な力
(8) 音楽・美術などの芸術 面の能力や情操	-0.05	第18位	1.18	(6) I C Tを活用しよう とする姿勢や能力
(17) 郷土や国を愛する心	-0.07	第19位	1.12	(9) 体力や運動能力
(23) 幅広い知識や教養	-0.08	第20位	1.11	(23) 幅広い知識や教養
(18) 歴史や伝統、文化につ いての理解	-0.10	第21位	0.75	(18) 歴史や伝統、文化につ いての理解
(5) 新しいものを生み出 す創造的な力	-0.13	第22位	0.72	(17) 郷土や国を愛する心
(7) 実際の場面で使える 英語などの語学力	-0.67	第23位	0.66	(8) 音楽・美術などの芸術 面の能力や情操

「(2) 自ら学び、考え、主体的に行動する力」、「(6) I C Tを活用しようとする姿勢や能力」、
「(14) 多様な人々がお互いに認め合い、共に生きる姿勢」は追加設問

(2) ポートフォリオ分析による現在の状況・重要性の評価

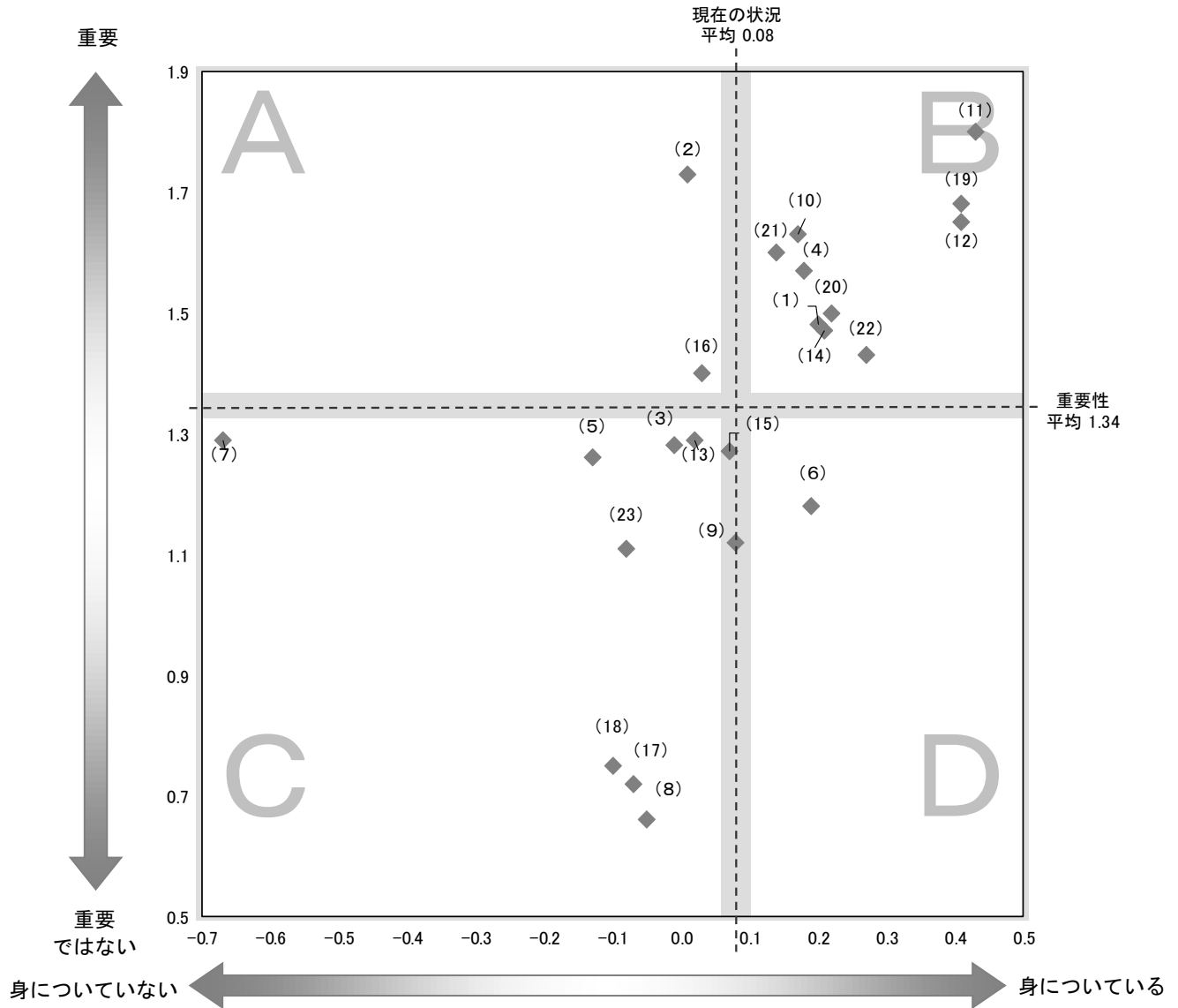
各項目の現在の状況・重要性の得点の関係について、現在の状況・重要性をそれぞれ縦軸と横軸にとり、得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の施策の方向性について分析しました。



- ◆タイプA **身についていないが、重要性は高い**
→ 今後の重点課題として検討が必要なタイプ。
- ◆タイプB **身についており、重要性も高い**
→ 事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプ。
- ◆タイプC **身についておらず、重要性も低い**
→ 全体に比べ、重要性および現在の状況が身についていない理由についての検証が必要なタイプ。施策の縮小や廃止などを含めた検討が必要。
- ◆タイプD **身についているが、重要性は低い**
→ これまでの施策が充実した結果、現在の状況が身についているものが含まれていると考えられるタイプ。ただし、施策が過剰になっていないか検討が必要。

●施策のポートフォリオ分析（回答者数 = 342）

身についていないが、重要性は高い施策（タイプA）は、『(2)自ら学び、考え、主体的に行動する力』『(16)ものごとをやりとげる粘り強さ』となっています。

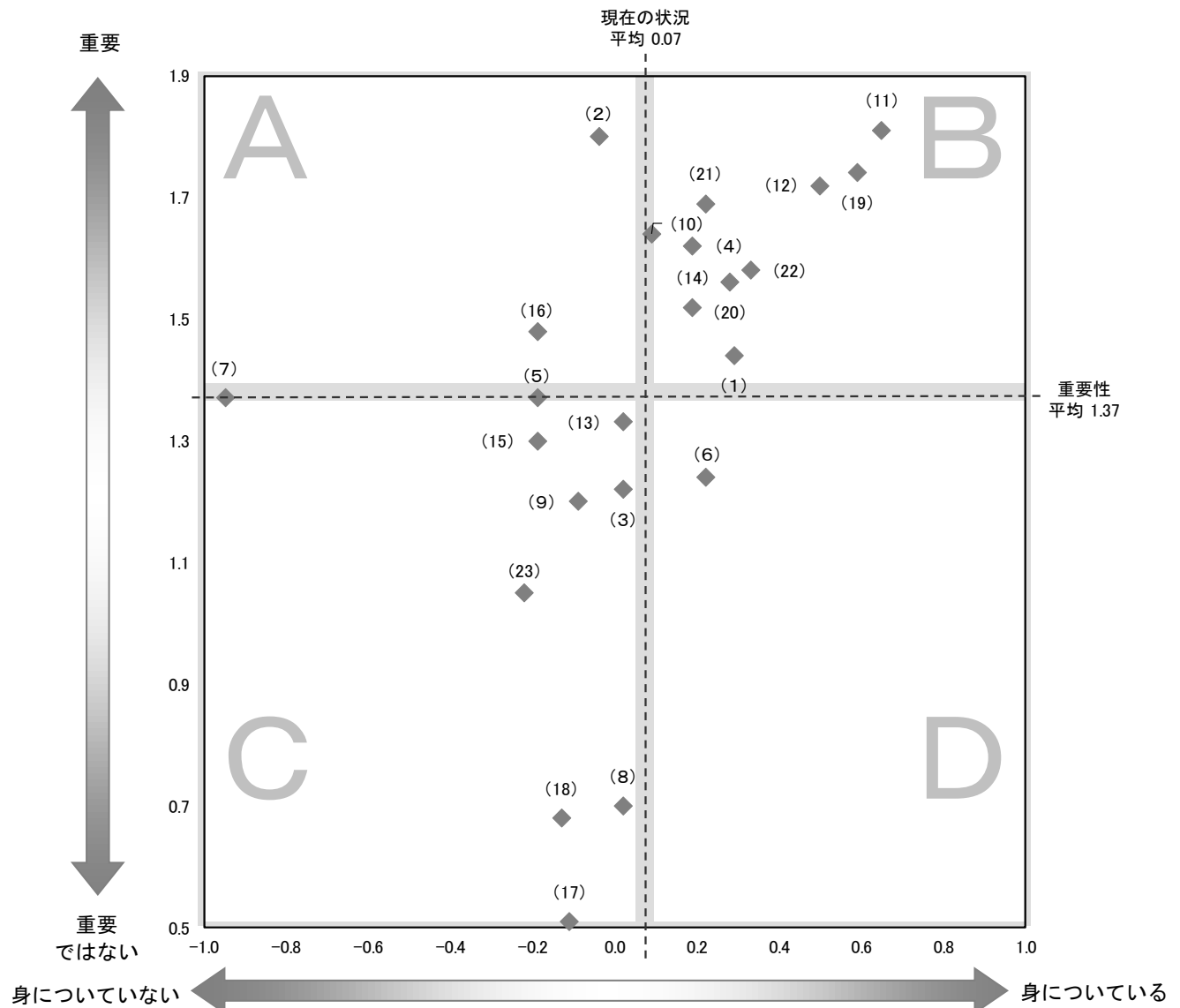


項目	
(1) 教科の基礎的な学力	(13) 社会で役立つと心や公共心
★(2) 自ら学び、考え、主体的に行動する力	★(14) 多様な人々がお互いに認め合い、共に生きる姿勢
(3) 論理的にものを考える力	(15) 生き方や進路について考える力
(4) 自分の考えを表現する力	(16) ものごとをやりとげる粘り強さ
(5) 新しいものを生み出す創造的な力	(17) 郷土や国を愛する心
★(6) ICTを活用しようとする姿勢や能力	(18) 歴史や伝統、文化についての理解
(7) 実際の場面で使える英語などの語学力	(19) 他者に対する理解と思いやりや優しさ
(8) 音楽・美術などの芸術面の能力や情操	(20) 生命や自然、環境を大切にすること
(9) 体力や運動能力	(21) 言葉遣い、礼節、マナー
(10) 自分の健康や安全を管理する力	(22) 基本的な生活習慣
(11) 善悪を判断する力	(23) 幅広い知識や教養
(12) 人間関係を築く力	

★印は追加設問

●施策のポートフォリオ分析(子どものいる世帯(大学生以外の成人の子は除く) 回答者数 = 110)

身についていないが、重要性は高い施策(タイプA)は、『(2)自ら学び、考え、主体的に行動する力』『(5)新しいものを生み出す創造的な力』『(7)実際の場面で使える英語などの語学力』『(16)ものごとをやりとげる粘り強さ』となっています。



項目	
(1) 教科の基礎的な学力	(13) 社会で役立つとする心や公共心
★(2) 自ら学び、考え、主体的に行動する力	★(14) 多様な人々がお互いに認め合い、共に生きる姿勢
(3) 論理的にものを考える力	(15) 生き方や進路について考える力
(4) 自分の考えを表現する力	(16) ものごとをやりとげる粘り強さ
(5) 新しいものを生み出す創造的な力	(17) 郷土や国を愛する心
★(6) ICTを活用しようとする姿勢や能力	(18) 歴史や伝統、文化についての理解
(7) 実際の場面で使える英語などの語学力	(19) 他者に対する理解と思いやりや優しさ
(8) 音楽・美術などの芸術面の能力や情操	(20) 生命や自然、環境を大切にする心
(9) 体力や運動能力	(21) 言葉遣い、礼節、マナー
(10) 自分の健康や安全を管理する力	(22) 基本的な生活習慣
(11) 善悪を判断する力	(23) 幅広い知識や教養
(12) 人間関係を築く力	

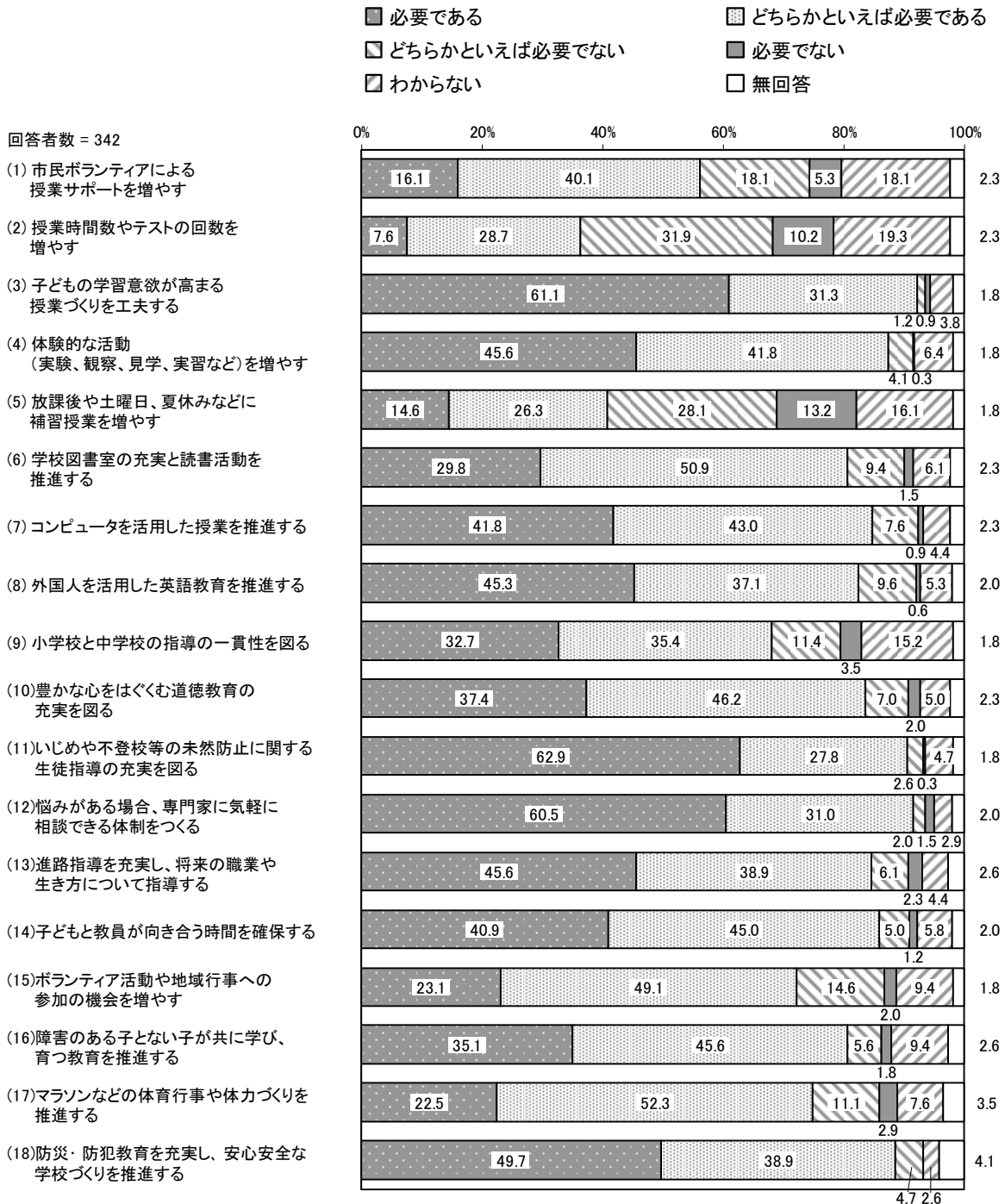
★印は追加設問

③力を入れるべき教育施策や教育事業について

問9 力を入れるべき教育施策や教育事業について 次のような教育施策や教育事業について、ご意見をお聞かせください。各項目について、当てはまる番号1つに○印をつけてください。

必要性について“必要である”（「必要である」＋「どちらかといえば必要である」の合計）の割合が高いのは、「子どもの学習意欲が高まる授業づくりを工夫する」（92.4％）が最も高く、「悩みがある場合、専門家に気軽に相談できる体制をつくる」（91.5％）、「いじめや不登校等の未然防止に関する生徒指導の充実を図る」（90.7％）、「防災・防犯教育を充実し、安心安全な学校づくりを推進する」（88.6％）が続いています。

【力を入れるべき教育施策や教育事業について】

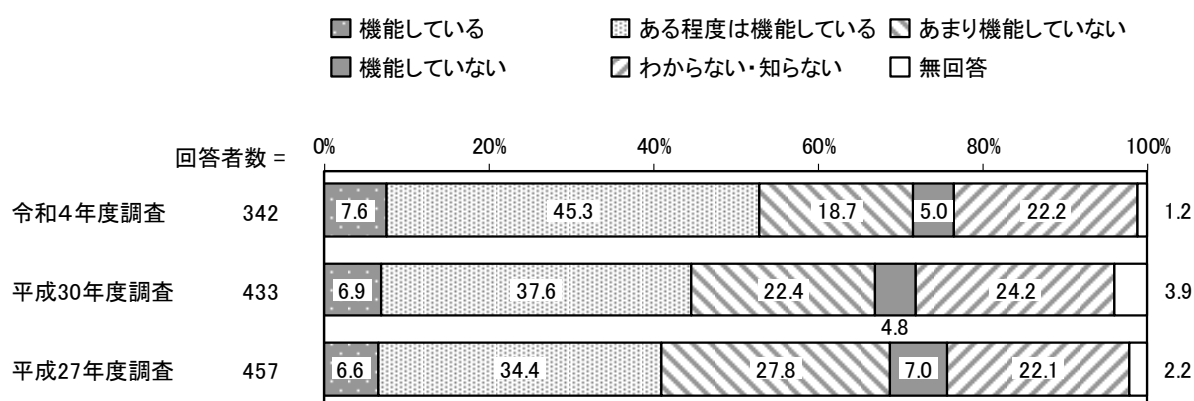


④家庭・地域の教育力

問 10 家庭教育・地域教育の現状について あなたの周辺を見て、家庭の教育力、地域の教育力はどの程度機能していると思いますか。(1)と(2)で、それぞれ1つに○印をつけてください。

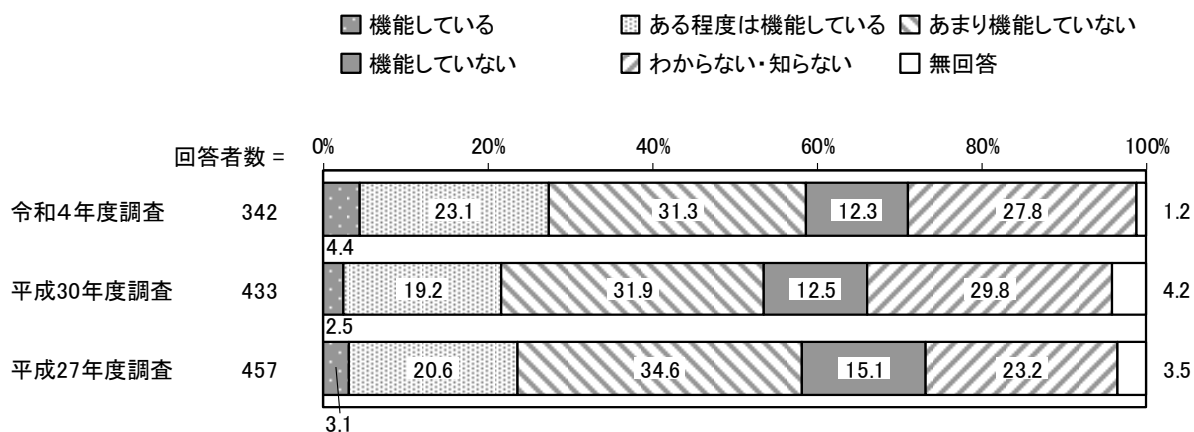
家庭の教育力(家庭で、親が子に対して行う教育)について、機能していると回答した人(「機能している」と「ある程度は機能している」の合計)は、今回調査(R4)で52.9%となっており、前回調査(H30)から8.3ポイント増加しています。

【家庭での教育の現状】



地域の教育力(地域社会の中で子どもたちが大人や異なる年齢の友人たちとの交流を通じたさまざまな体験などができる教育機能のこと)について、機能していると回答した人(「機能している」と「ある程度機能している」の合計)は、今回調査(R4)で27.5%となっており、前回調査(H30)から5.8ポイント増加しています。

【地域での教育の現状】

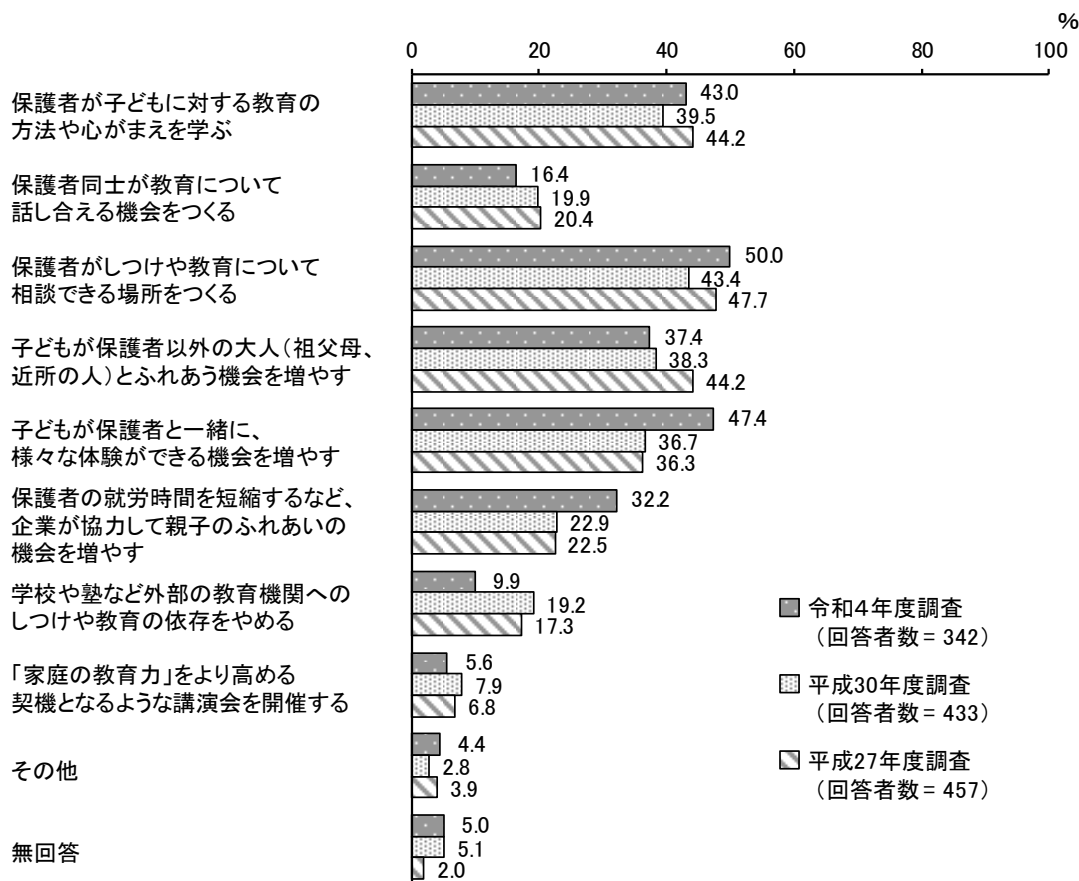


⑤家庭の教育力を高めるために必要な取組み

問 11 家庭の教育力を高めるために あなたは、「家庭の教育力」をより高めていくために、どのような取組みが必要だと思いますか。(主なもの3つまで○印)

家庭の教育力を高めるために必要な取組みについて、今回調査(R4)では「保護者がしつけや教育について相談できる場所をつくる」(50.0%)が最も高くなっており、「子どもが保護者と一緒に、様々な体験ができる機会を増やす」(47.4%)、「保護者が子どもに対する教育の方法や心がまえを学ぶ」(43.0%)、「子どもが保護者以外の大人(祖父母、近所の人)とふれあう機会を増やす」(37.4%)が続いており、上位4つの項目は前回調査と同様となっています。

【家庭の教育力を高めるために必要な取組み】

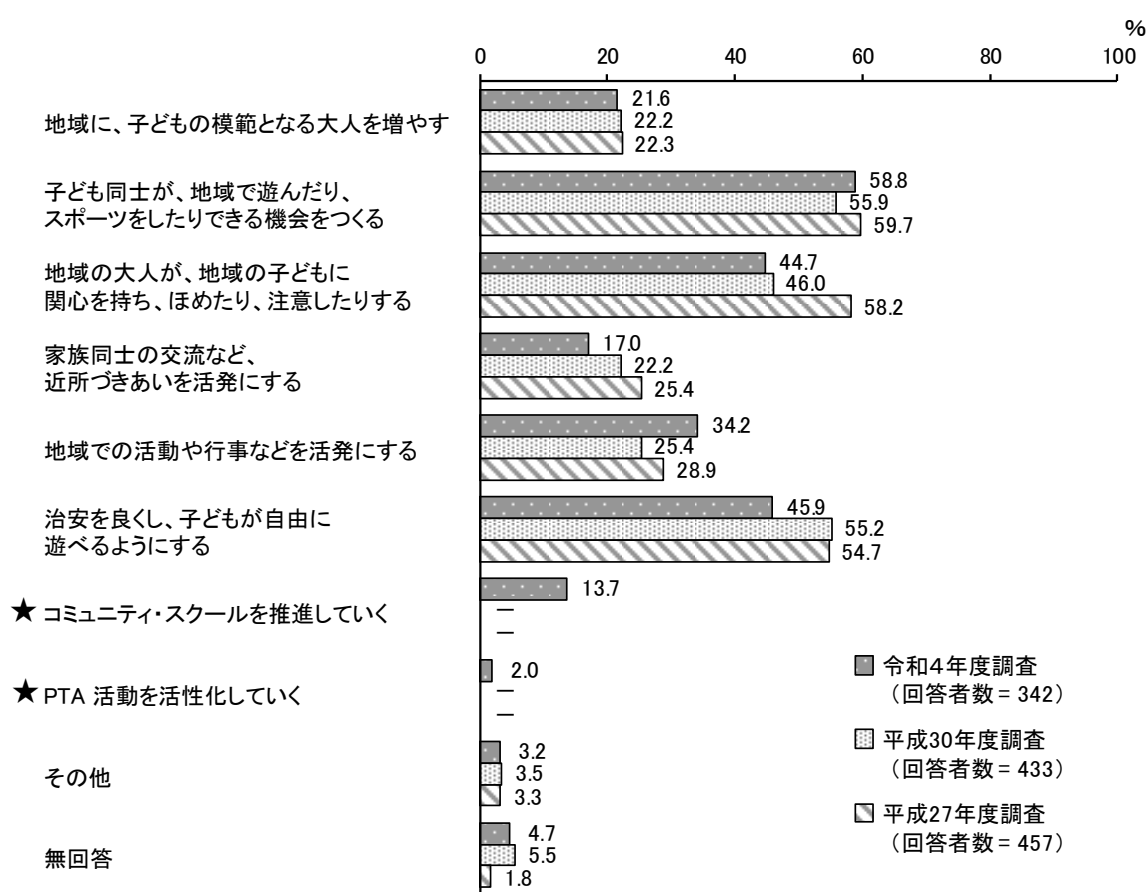


⑥地域の教育力を高めるために必要な取組み

問 12 「地域の教育力」を高めるために あなたは、「地域の教育力」をより高めていくために、どのような取組みが必要だと思いますか。（主なもの3つまで○印）

「地域の教育力」を高めるために必要な取組みについて、今回調査（R4）では「子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツをしたりできる機会をつくる」（58.8%）が最も高く、「治安を良くし、子どもが自由に遊べるようにする」（45.9%）、「地域の大人が、地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したりする」（44.7%）が続いており、上位3つの項目は前回調査と同様となっています。

【地域の教育力を高めるために必要な取組み】



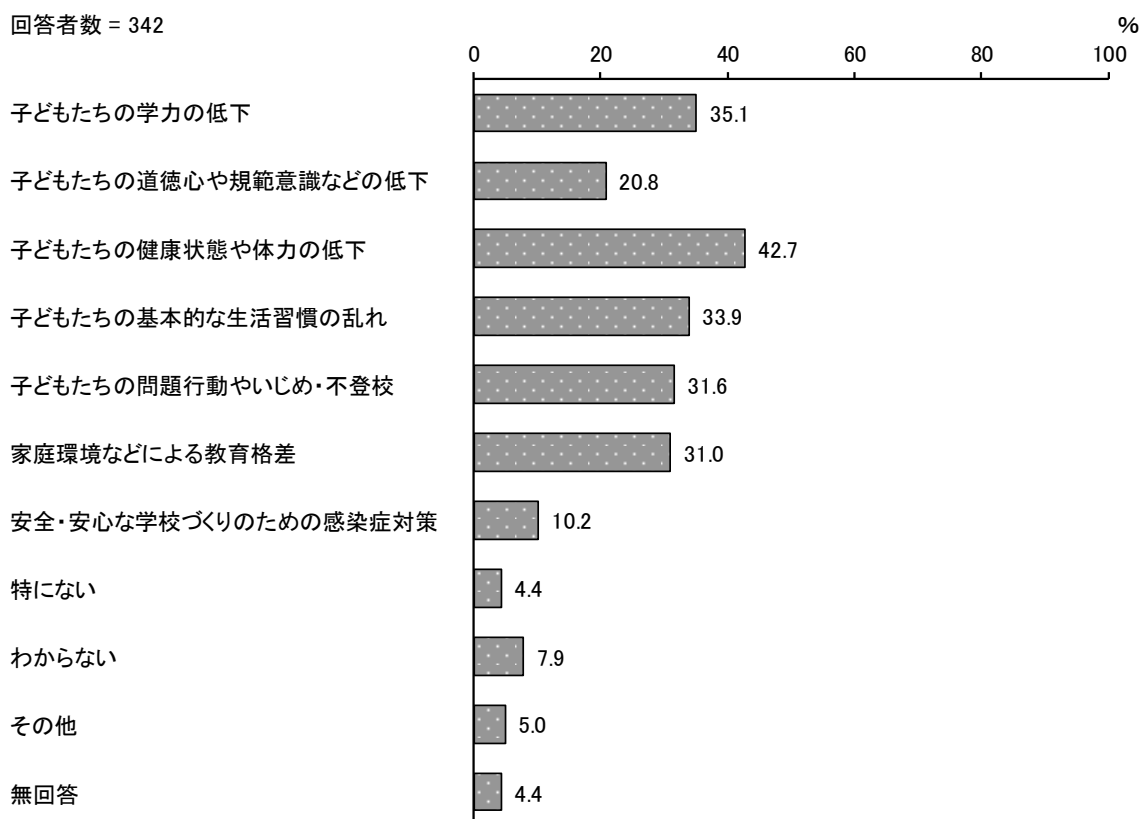
★印は追加した選択肢

⑦新型コロナウイルスの影響による子どもたちの教育についての不安

問 13 新型コロナウイルスの影響 現在の状況下における松原市の子どもたちの教育について不安を感じていることは何ですか。(主なもの3つまで○印) ★追加設問

「子どもたちの健康状態や体力の低下」(42.7%)が最も高く、「子どもたちの学力の低下」(35.1%)、「子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ」(33.9%)となっています。

【子どもたちの教育についての不安】



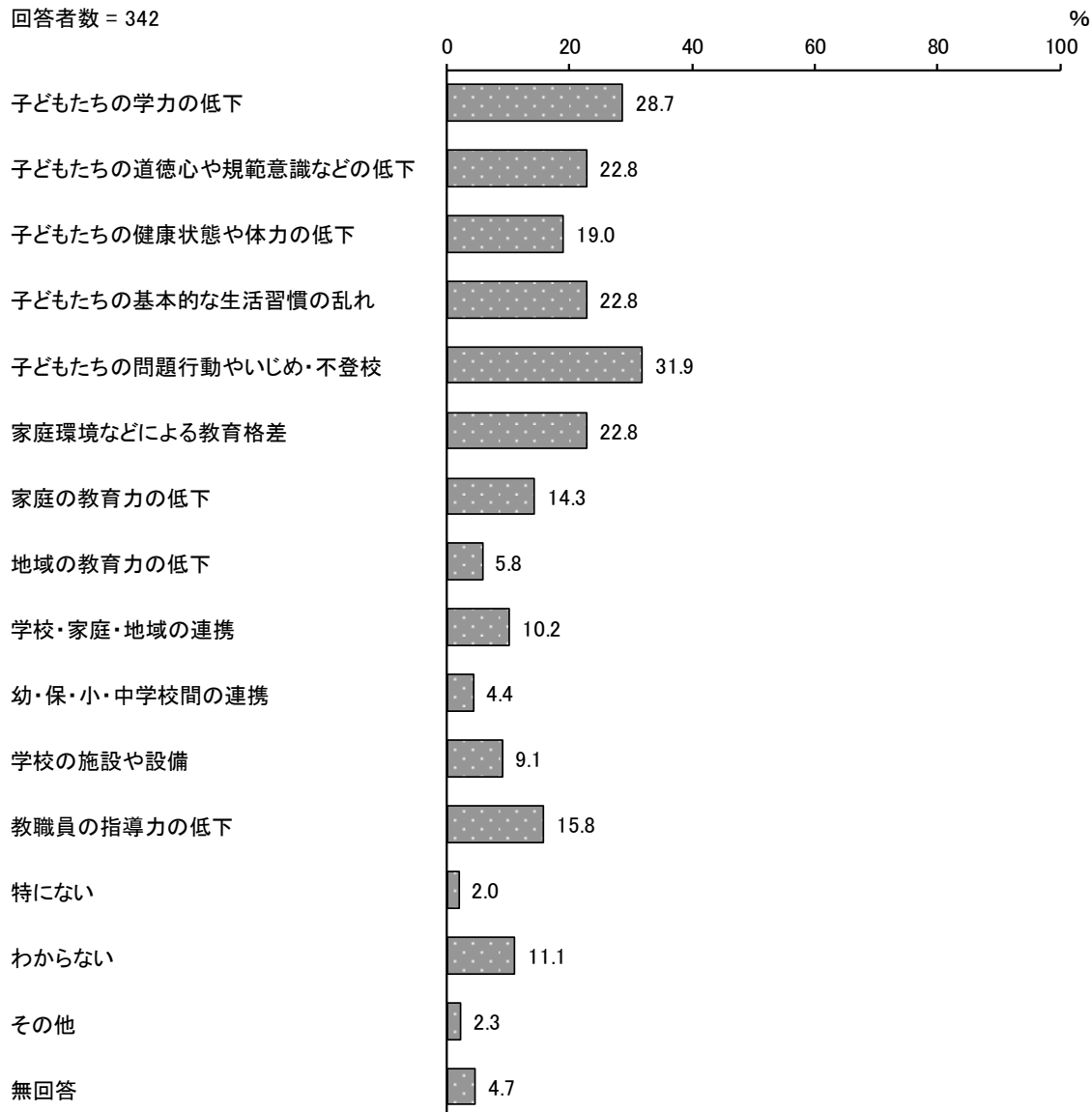
⑧松原市の教育の課題について

問 14 松原市の教育の課題について あなたが子どもたちや教育について課題と感じていることは何ですか。(主なもの3つまで○印)

「子どもたちの問題行動やいじめ・不登校」(31.9%)が最も高く、「子どもたちの学力の低下」(28.7%)、「子どもたちの道徳心や規範意識などの低下」(22.8%)、「子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ」(22.8%)となっています。

【松原市の教育の課題について】

回答者数 = 342



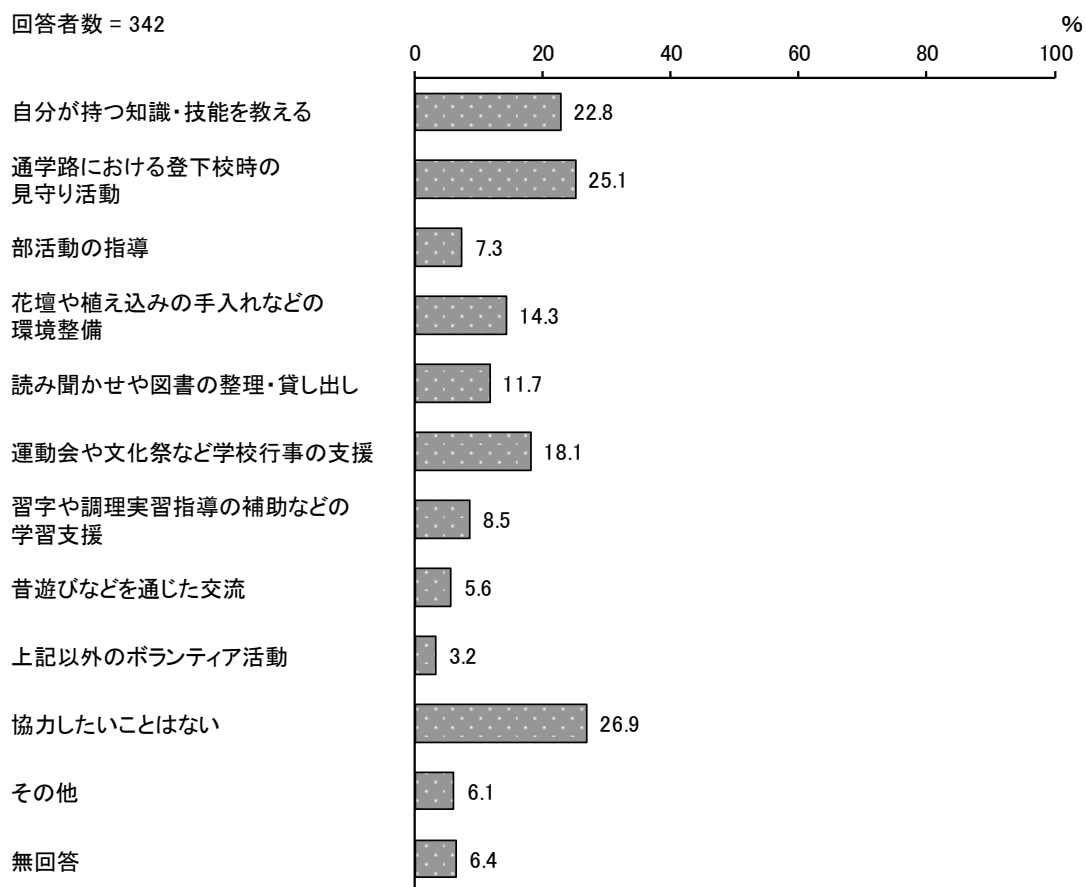
⑨学校に対しての協力について

問 15 学校に対しての協力 あなたは、今後、地域の学校に対して協力してみたいと思うことは何ですか。(あてはまるすべてに○印) ★追加設問

「協力したいことはない」(26.9%)が最も高く、「通学路における登下校時の見守り活動」(25.1%)、「自分が持つ知識・技能を教える」(22.8%)、「運動会や文化祭など学校行事の支援」(18.1%)となっています。

【学校に対しての協力について】

回答者数 = 342



(5) 生涯学習・文化の状況

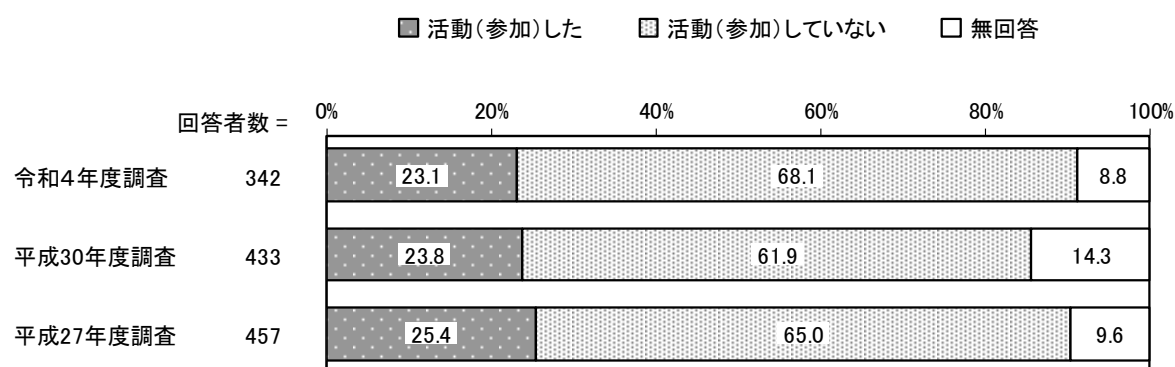
問 16 あなたの生涯学習・文化活動の現状と今後について あなたは、この1年くらいの間に、自分から進んでどのような生涯学習・文化活動をしましたか。また、今後、どのような活動をしてみたいですか。各項目について、それぞれ当てはまる番号1つに○印をつけてください。

① 趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、陶芸など）

◆この1年の活動や参加の有無

この1年の活動や参加の有無について、今回調査（R4）では「活動（参加）した」が23.1%となっており、前回調査（H30）から0.7ポイント減少しています。

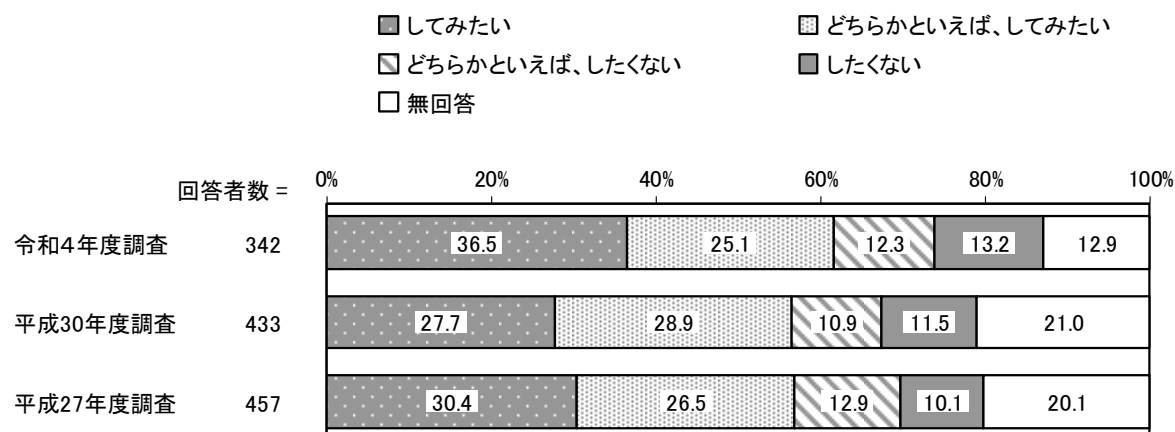
【この1年の活動や参加の有無】



◆今後の活動意向

今後の活動意向について、今回調査（R4）では「活動してみたい（「してみたい」と「どちらかといえば、してみたい」の合計）が61.6%となっており、前回調査（H30）から5.0ポイント増加しています。

【今後の活動（参加）意向】

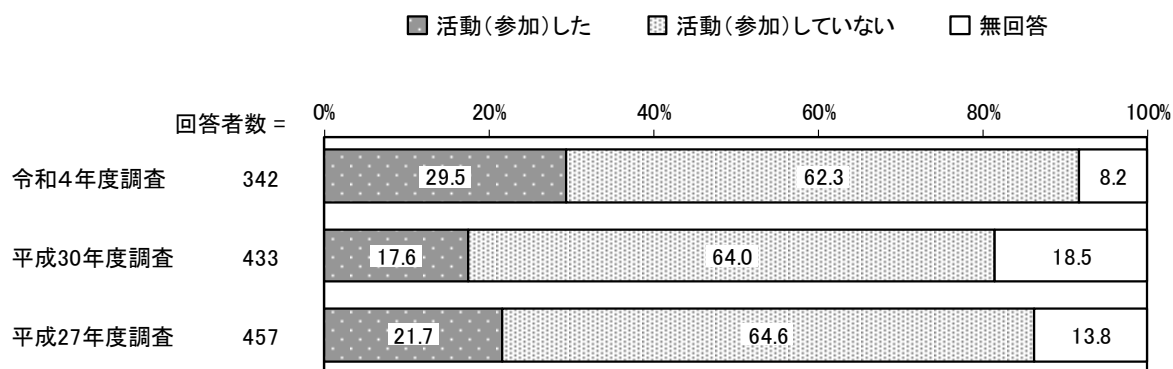


②職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）

◆この1年の活動や参加の有無

この1年の活動や参加の有無について、今回調査（R4）では「活動（参加）した」が29.5%となっており、前回調査（H30）から11.9ポイント増加しています。

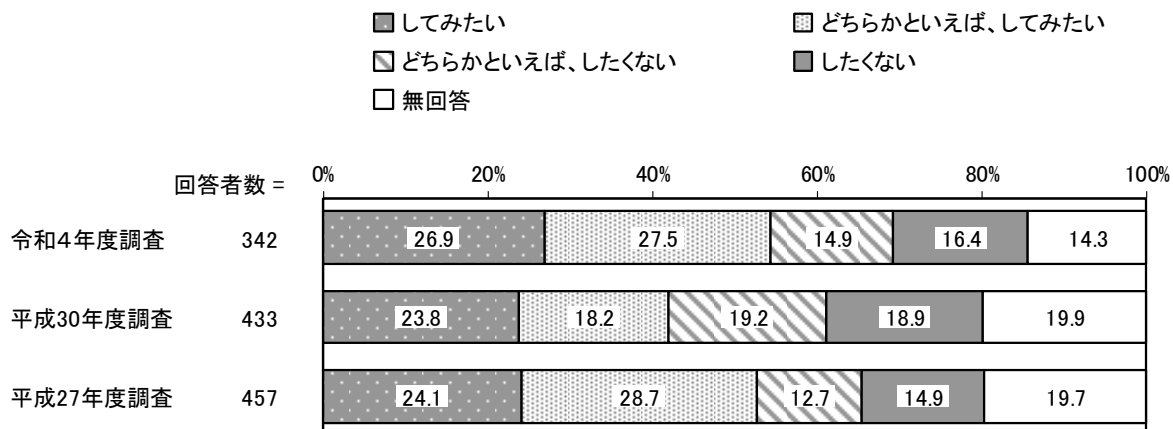
【この1年の活動や参加の有無】



◆今後の活動意向

今後の活動意向について、今回調査（R4）では「活動してみたい（「してみたい」と「どちらかといえば、してみたい」の合計）が54.4%となっており、前回調査（H30）から12.4ポイント増加しています。

【今後の活動（参加）意向】

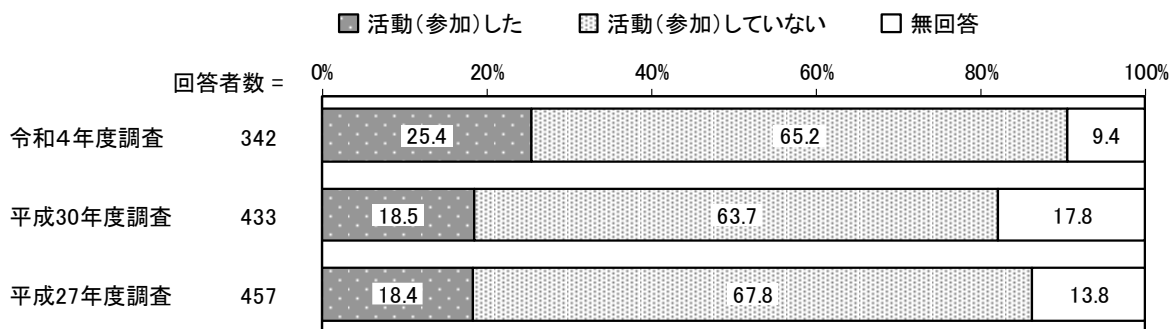


③パソコン・インターネットに関すること

◆この1年の活動や参加の有無

この1年の活動や参加の有無について、今回調査（R4）では「活動（参加）した」が25.4%となっており、前回調査（H30）から6.9ポイント増加しています。

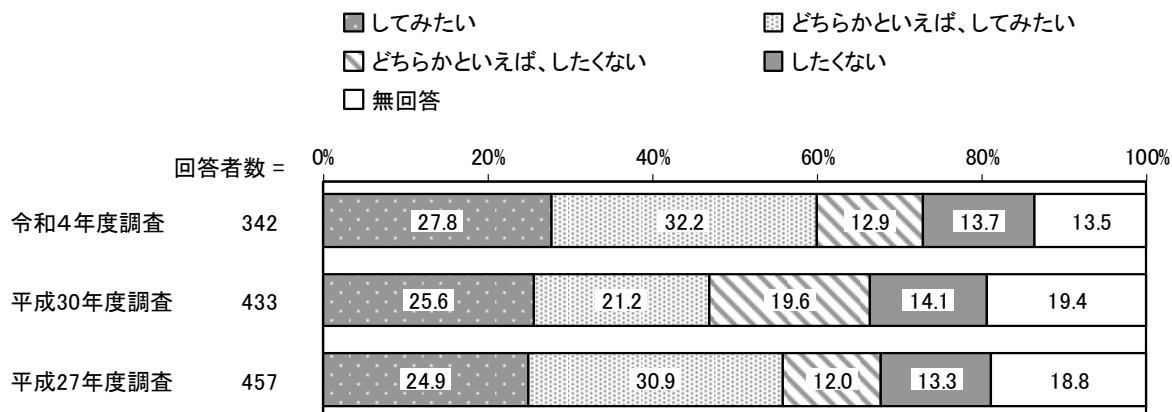
【この1年の活動や参加の有無】



◆今後の活動意向

今後の活動意向について、今回調査（R4）では「活動してみたい（「してみたい」と「どちらかといえば、してみたい」の合計）が60.0%となっており、前回調査（H30）から13.2ポイント増加しています。

【今後の活動（参加）意向】

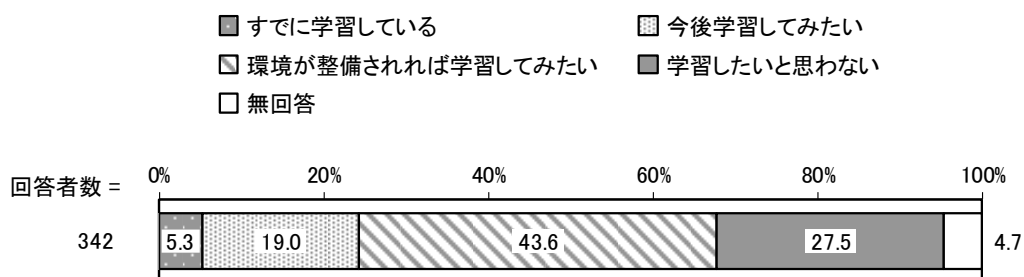


④リカレント教育や社会人の学び直し

問 17 学びなおしについて リカレント教育や社会人の学び直しが注目されていますが、あなたは今後、教育機関等で学習したいと思いますか。当てはまる番号1つに○印をつけてください。★追加設問

「環境が整備されれば学習してみたい」（43.6%）が最も高く、「学習したいと思わない」（27.5%）、「今後学習してみたい」（19.0%）となっています。

【リカレント教育や社会人の学び直しについて】

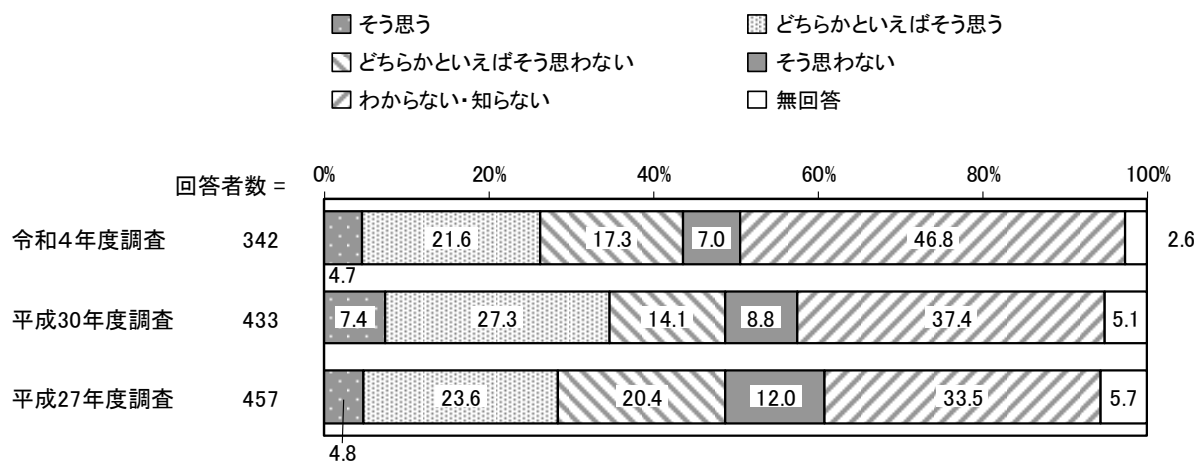


⑤(全般)松原市の生涯学習・文化環境

問 18 松原市の生涯学習・文化の現状について 松原市の生涯学習・文化などにおける現在の取組みについて、あなたはどのように感じますか。各項目について、当てはまる番号1つに○印をつけてください。

(全般)松原市の生涯学習・文化環境は充実しているかについて、今回調査（R4）では「そう思う」（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が26.3%となっており、前回調査（H30）から8.4ポイント減少しています。

【(全般)松原市の生涯学習・文化環境は充実しているか】



⑥松原市の生涯学習・文化活動の今後について

問 19 松原市の生涯学習・文化活動の今後について 今後、松原市の生涯学習・文化活動をより充実させていくためには、どのような取組みが必要だと思いますか。
(主なもの3つまで○印)

松原市の生涯学習・文化活動をより充実させていくために必要な取組みについて、今回調査(R4)では「コンサートや演劇などの機会の充実」(37.1%)が最も高く、「文化・芸術を気軽に学べる教室の開催」(31.9%)、「文化・芸術施設や設備の充実」(23.4%)が続いており、上位3つの項目は前回調査と同様となっています。

【松原市の生涯学習・文化活動をより充実させていくために必要な取組みか】

